

情報公開文書

1. 研究の名称：アルツハイマー病におけるシナプスに着目した疾患進行予測バイオマーカの探索
2. 本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施します。
3. 研究機関名・研究責任者：京都大学医学部附属病院 脳神経内科 葛谷聡

4. 研究の目的・意義

アルツハイマー病は、特定のタンパク質が脳内に異常蓄積する神経変性疾患です。具体的には、アミロイドβ蛋白（Aβ）やタウ蛋白が認知機能低下出現の約 20 年以上前より蓄積することが知られています。これらの蛋白の異常蓄積に加え、神経と神経のつなぎ目であるシナプスの脱落が認知機能障害と最も相関することが報告されています。臨床症状に加えて様々な検査によりアルツハイマー病の診断精度は上昇しておりますが、病気の進行を予測する因子は依然わかっておりません。本研究では剖検脳、血液、脳脊髄液を用いて、アルツハイマー病の進行を予測するシナプス関連因子の探索を目的とします。

5. 研究実施期間

倫理委員会承認後、2024 年 3 月 31 日まで行います。

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2015 年 2 月 1 日から 2021 年 7 月 30 日までに京都大学医学部附属病院脳神経内科で血液、脳脊髄液を採取された患者のうち、臨床的にアルツハイマー病と診断された患者さん、および対照群としてアルツハイマー病を呈さなかった患者さん保存検体です。保存検体のうち、脳脊髄液に関しては診療目的で採取した残余検体を、血液に関しては将来の医学研究への二次利用の同意取得後に追加採取された検体となります。

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

京大病院脳神経内科で保存されている研究対象者の血液、脳脊髄液は、主に京大病院脳神経内科、京大大学院医学研究科認知症制御学講座で解析を行います。一部の血液を用いた解析は京大病院と業務委託している LSI メディエンスに外注しますが、それ以外の機関へ提供されることはありません。

8. 利用する試料・情報の項目

利用する試料は項目 6 で述べられている京大病院脳神経内科で採取、保存されている血液、脳脊髄液で、利用する情報はこれらの試料を用いて解析されるアルツハイマー病の病態関連分子のデータや関連する診療情報（年齢、性別、疾患名、臨床経過、各種検査所見、身体所見など）です。

9. 共同研究機関名・責任者

福祉村病院 長寿医学研究所 / 神経病理研究所 神経病理研究所副所長 金田大太

10. 試料・情報の管理に関する責任者

京都大学大学院医学研究科認知症制御学講座 後藤和也

11. 本研究に関して、お問い合わせいただくための手段について

本研究に関して、問い合わせが可能なように、本研究の内容、実施者、問い合わせ先について京都大学脳神経内科ホームページ内に掲載いたします。研究や個人情報に関する問い合わせや、研究への利用停止、研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧を求められた場合には、研究対象者でいらっしゃることを確認させていただいた上で、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、速やかに対応いたします。

12. 個人情報の取り扱いに関して

患者さんの個人の特定につながる情報・試料（血液、脳脊髄液）はすべて匿名化してデータ集計・解析を行います。研究成果を学会や論文では発表する際にも、完全に匿名化します。匿名化を条件に、論文などの発表後少なくとも10年はデータを保管します。

13. 研究資金・利益相反

この研究は、京都大学大学院医学研究科臨床神経学の研究費（日本学術振興会科学研究費）を元に運営されます。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査されています。

14. お問い合わせ等の窓口

本研究課題の相談窓口：

京都大学医学部附属病院 脳神経内科 葛谷聡

(TEL) 075-751-3771

京都大学の相談窓口：

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

(TEL) 075-751-4748

(E-mail) ctsodan*kuhp.kyoto-u.ac.jp (E-mail は*を@に変えてください)